

本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年11月分)

米ドル選好が目立つ

- ブルームバーグのデータによると、11月の売出債(個人投資家向けの外貨建て債券)総発行額は+891億円、償還額は+1,218億円となり、総発行額から償還額を差し引いた純発行額は▲328億円の償還超となった(図表1)。
- 売出債の年間純発行額を通貨別にみると、2014年は豪ドル建てが▲4,138億円の償還超(11月までのデータを年率換算、以下同じ)となっているほか、南アフリカランド建て(▲314億円)、トルコリラ建て(▲187億円)、ニュージーランドドル建て(▲141億円)も償還超となっている(図表2)。一方、米ドル建て(+786億円)、メキシコペソ建て(+425億円)、インドネシアルピア建て(+281億円)が発行超となり、全体の発行額を支えている。
- 投資信託協会の外貨建投資信託の純資産総額(為替評価調整後)の推移によると、11月は27兆9,807億円と前月の27兆1,288億円から増加し、2011年5月以来の高水準を記録した。
- 通貨別にみると、ニュージーランドドル、ノルウェークローネ、ポーランドズロチを除く通貨で残高が増加。中でも米ドルが15兆3,076億円と2004年7月以降のデータで最大を更新したほか、英ポンドも1兆2,950億円と2010年3月以来の高水準に増加した(図表7)。
- 金融先物取引業協会の店頭外国為替証拠金取引および東京金融取引所の取引所為替証拠金取引のデータによると、11月の個人投資家による為替証拠金取引ネット・ポジションは+1兆8,859億円と2014年3月以来の低水準だった前月の+1兆3,279億円から増加した(図表9)。
- 通貨別にみると、米ドルが+1兆4,190億円と5か月ぶりに1兆円を超えたほか、英ポンド、オーストラリアドル、カナダドルも買い持ち高が増加した。一方でユーロは▲1,534億円と前月の▲870億円から売り持ち高が拡大し、2013年11月以来の高水準をつけた。またニュージーランドドルの買い持ち高は前月の+2,376億円から5か月ぶりの低水準である+1,498億円に急減した。

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔

03-3242-7065

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト

深谷 公勝

03-3242-7065

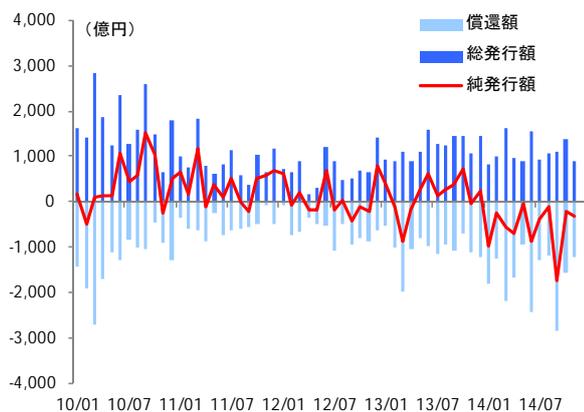
masakatsu.fukaya@mizuho-bk.co.jp

多田出 健太

03-3242-7065

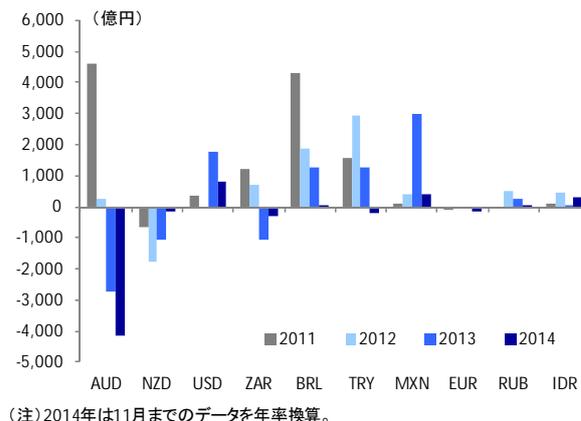
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

図表 1 : 売出債の発行額・償還額（外貨建て）



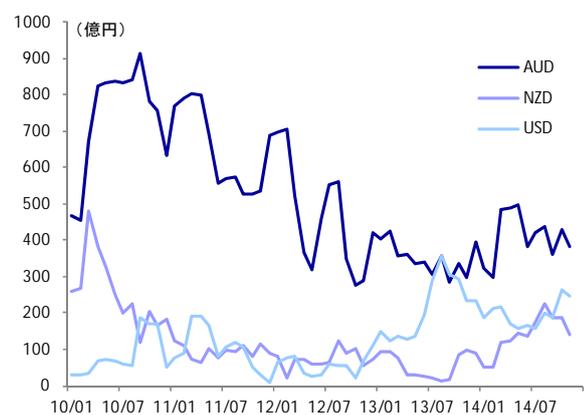
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2 : 売出債の年間純発行額（通貨別）



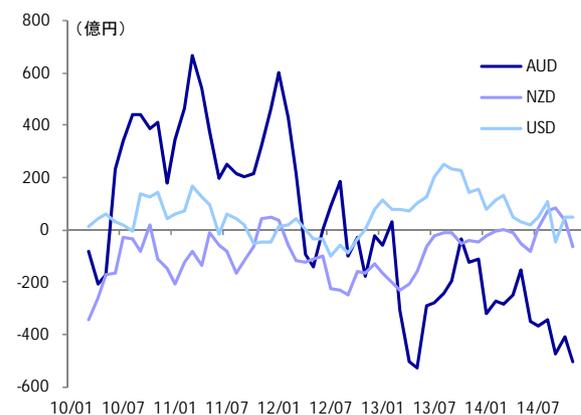
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3 : 売出債の総発行額（先進国、3 ヶ月移動平均）



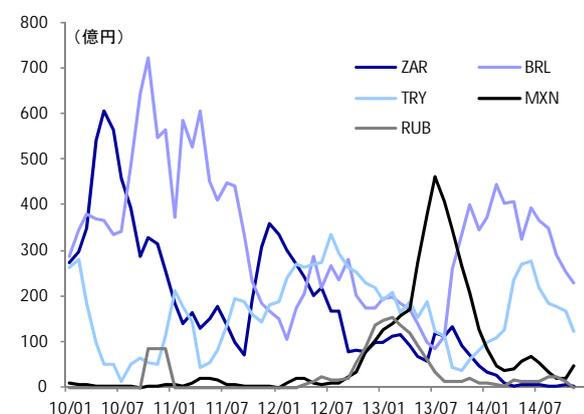
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4 : 売出債の純発行額（先進国、3 ヶ月移動平均）



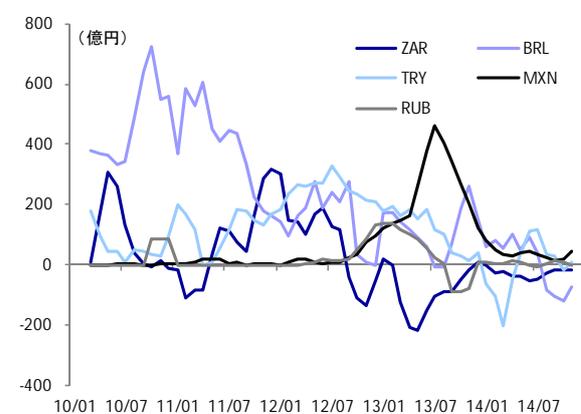
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5 : 売出債の総発行額（新興国、3 ヶ月移動平均）



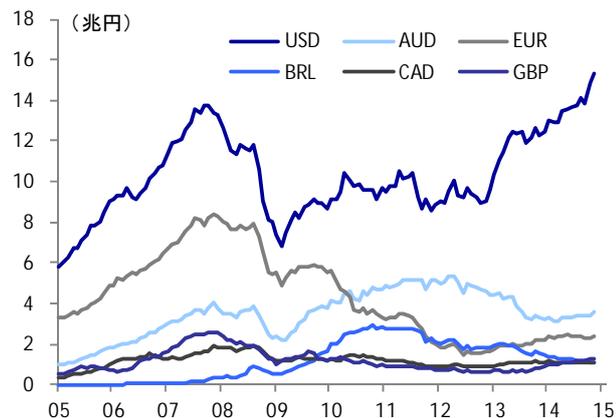
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6 : 売出債の純発行額（新興国、3 ヶ月移動平均）



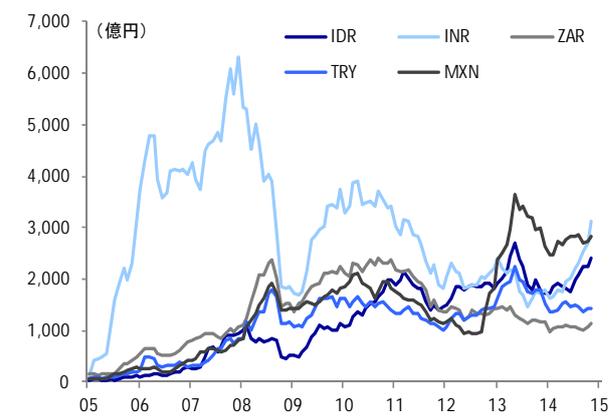
(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 7 : 投資信託の純資産残高 (USD, AUD, EUR, BRL, CAD)



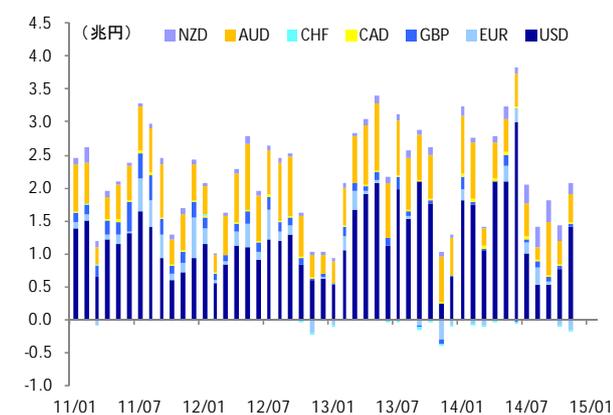
(資料) 投資信託協会 ※為替評価調整後

図表 8 : 投資信託の純資産残高 (IDR, INR, ZAR, TRY, MXN)



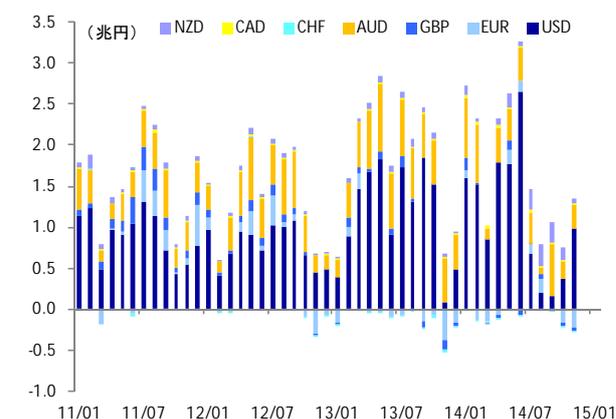
(資料) 投資信託協会 ※為替評価調整後

図表 9 : 為替証拠金取引ポジション (FFAJ、TFX 合算)



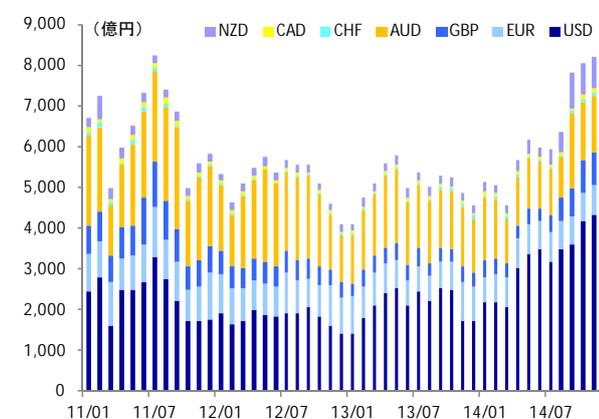
(資料) 金融先物取引業協会、東京金融取引所、みずほ銀行

図表 10 : 外為証拠金取引ポジション (FFAJ)



(資料) 金融先物取引業協会、みずほ銀行

図表 11 : 取引所為替証拠金取引ポジション (TFX)



(資料) 東京金融取引所、みずほ銀行

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。